令和２年度１年次「国語総合」　オリエンテーション２

【古典学習編】

はじめに

「古典」には「古文」と「漢文」があります。近代以前（江戸時代まで）の作品を勉強します。現代とは異なる言葉ゆえに覚えなくてはならない単語やルール（文法）があるのは、英語と同じです。しっかり覚えましょう。同時に読む楽しさも味わっていきたいですね。

１　授業に持参するもの

①教科書『国語総合』　　②ノート　　③国語便覧（ロッカーに保管可）
④『三訂版　完全傍訳　やさしくくわしい　古典文法』
⑤『修訂版　記入してわかる　やさしくくわしい　古典文法ノート』
⑥『みるみる覚える古典文法３３０＋敬語３０』（最初は辞書として使用）
⑦『精選漢文』（６月～漢文の授業のときに使用）
⑧古語辞典（電子辞書可）※電子辞書には古語辞書が入っていないものがあります。

２　授業の流れ

（１）予習･･･本文をできるところまで品詞分解し、活用を書く。（くわしくは後日）
（２）授業･･･文法的に間違っていたところについて復習する。
（３）復習･･･話のポイントや文法事項について自分で説明できるようにする。

３　ノートの取り方

古典用に必ずノート１冊を準備してください。現代文と同じノートにしないこと。上頁に学習プリントを貼り、指示に従って予習を書き込みます。下のページを上から５cm のところに線を引いて二段に分け、上段には語句調べ、下段には授業のポイントを書き込んでいきます。自力での予習が決め手です！！

４　小テストや課題について

古文単語テスト（使う教材『みるみる覚える古典文法３３０＋敬語３０』+『精選漢文』）
･･･６月から実施予定です。

週末課題（使う教材『よむナビ古文１』『よむナビ漢文１』）
･･･問題を解いたら、解説書を読んで、答え合わせをする。

暗唱課題

･･･年間の授業を通して、高校生また日本人として覚えてほしい百人一首を一首ずつ、暗唱してもらいます。定期考査でも出題します。週１首ずつ、国語便覧を参照し授業の冒頭でやります。１月に百人一首大会（文化委員会主催）もありますので、是非がんばって覚えてください。